

コロナ禍の世界

横浜市駐在員リポート

24

米国内の感染ペースが再び加速している。1日当たりの新規感染者は一時20万人に迫り、これまでの死者数は25万人を超えた。世界最悪が止まらない。全米各地で再び対策強化の動きが広がっている。シ

にあるが、既にレストランが今年も点灯準備を始めた。世界恐慌から9・11中核同時テロ、そして今日に至るまで、楽しい時も苦しい時もその時々に見えたり人たちが希望を見せてきたという。未曾有の困難に立ち向かった2020年。2日には、いつもどおりの「希望の灯」がともる。

ともし続ける希望の灯

カゴ市長は「生きるか死ぬかの深刻な事態」として市民に自宅待機を勧告するとともに、感謝祭の会食や旅行を中止するよう求めた。サンフランシスコ市はレストランの店内飲食を禁止し、経済活動の再開停止や後退も辞さない構え。フィラデルフィア市は屋内の集まりを禁止、屋外のイベントも制限する方針だ。ミシガン州とワシントン州も飲

ニューヨーク



2日の点灯式(テレビ中継のみ)を待つクリスマスツリー=11月27日、マンハッタンのロックフェラーセンター

ニューヨーク州の陽性率は3%前後で推移。各州で比較すると依然低いレベル

ニューヨークの「希望の象徴」、ロックフェラーセンターのクリスマスツリー

(横浜市国際局グローバルネットワーク担当理事/米州事務所長・関山 誠)